



20210418

討論「コロナ危機における心身のケアと教育」

西村美東士

コロナ危機下におけるオンライン特別学術大会・研修会

<http://mito3.jp/20210418qol.html>

コロナ危機下におけるオンライン特別学術大会・研修会 「コロナ危機における心身のケアと教育」概要

- 村上正人先生（本会常任理事、国際医療福祉大学心理学部教授・医師）
- https://www.sannoclc.or.jp/mc/patient/doctor/shinryo_naika/
- 松浦広明先生（本会常任理事、松蔭大学副学長、ハーバード大学博士）
- <https://sites.google.com/site/hiroakimuppymatsuura/>
- 鈴木淳子先生（本会常任理事、白百合女子大学研究員、筑波大学博士）
- <https://researchmap.jp/709>
- コーディネーター／指定討論者：
- 西村美東士先生（本会常任理事・機関誌編集委員会委員長・国立徳島大学教授など歴任）
- 森脇健介先生（本会監事・法哲学者・早稲田大学招聘研究員）
- 司会：望月雅和先生（本会専務理事）

松浦広明先生の 「緊急事態における迅速評価と新型コロナウイルス」 から学ぶ

- 格差との関係
- 「100%安全」神話の弊害



村上正人先生の
「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック時代の
メンタルヘルスを考える」から学ぶ



人間的な生活に戻れた？ 敵は同調圧力？、共依存の組織集団？

1回目の緊急事態宣言中のテレワーク

令和2年4月7日緊急事態宣言、5月25日解除

良かったことも

就業時間の前後は自由
始業ぎりぎりまで寝ておられる
空いた電車、バス、道路
身支度や化粧もせず、どんな姿勢でも仕事ができる
食べながら、音楽を聴きながら、でも仕事ができる
わずらわしい社内の人間関係も最小限
自分のペースで仕事が出来て、帳尻合わせが可能
子育てしながら就業も可能
夫婦で育児

解除後

テレワークの快適性も良かったが..
またあの生活が始まるのか・・・
うっとおしいなあ・・・

川島 高之 (著)

いつまでも会社があると思うなよ!

2015/9/16 PHP研究所

書評<http://mito3.jp/syohyou/html/3460.html>

かつて、男性にとって会社は確かに「安全地帯」であった。しかし今は.....。長時間労働の対価であった「終身雇用と年功序列」が崩れ、合併や倒産も珍しくなくなった今、会社だけを頼りにしていたら、男の人生どんづまりになるかも知れない。そんな時代だからこそ、仕事(ワーク)と共に、私生活(ライフ)と社会活動(ソーシャル)という「3本柱の生活」があなたの人生を強く、豊かなものにしてくれるのである。

ワークとライフ(個人完結型)だけではなく、
ソーシャル(社会開放型)のライフスタイルを

コロナ後のQOL向上の視点から

個人完結型

家庭

学校

職場

社会開放型による
世界の拡大

地域

社会

参画と協働

信頼
共感と

鈴木淳子先生の 「子どもの貧困ー理論とその現状」から学ぶ

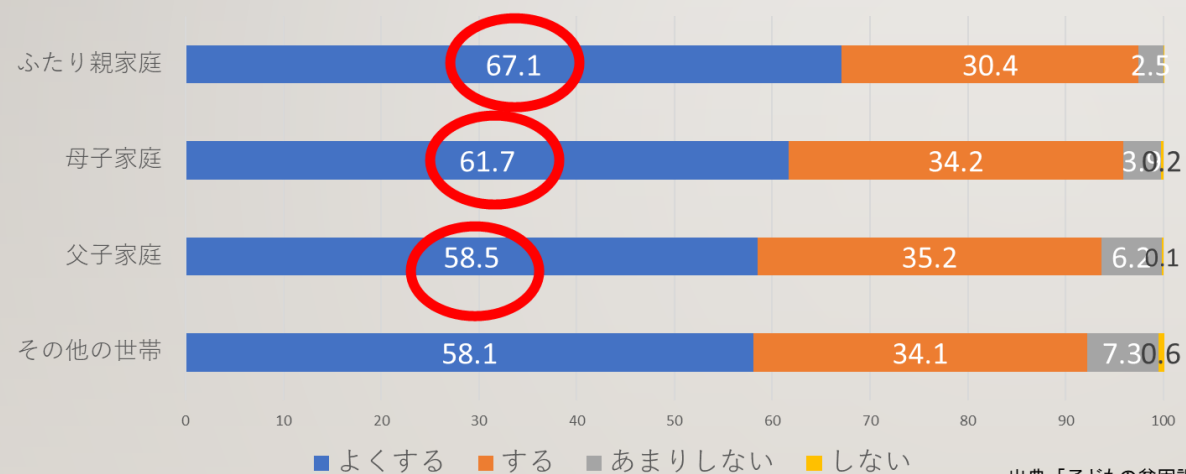


親子の会話の大切さ

経済的資本（４）子どもとの会話

藤本義一 『百円オペラ』
大阪ドヤ街の母子家庭の話
会話の頻度よりも、「質」

子どもとの会話の頻度



出典:「子どもの貧困調査」, 2019

ふたり親世帯と比べて母子家庭や父子家庭などでは会話が少ない傾向

子育ての「社会化」に期待したい —子どものQ O Lを守るために—

- 児童虐待という悲劇
- 「親子心中」という殺人
- 個人化社会において「自己責任」
- 関係性の貧困
- 「わが子を社会にお返しする」

